

塩崎雄大議員



- (一般質問)
- 1 スポーツ振興について
 - 2 市職員の働き方改革について

今後の在り方は？

中学校の部活動

問

少子化の進展、デジタル機器の普及やコロナ禍により、スポーツをする子どもが激減している中、中学校の運動部活動の状況はどのようなになっているのか。

また、全国的に、部活動を担当する教員がいけないことなどが原因で、所属したい部活動が学校にないなどの状況に陥っていることから、スポーツ庁からは、運動部活動を民間のクラブチームや外部指導者に委ねる地域移行を、令和5年度から令和7年度をめぐり段階的に行うよう提言され

ているが、地域移行の推進はどのような効果をもたらすと考えているのか。

更に、地域移行は教員の負担軽減も大きな目的とされているが、部活動中に事故が起こった場合の責任の所在などさまざまな課題が懸念されている。想定される課題や今後のスケジュールについて、どのように認識しているのか。

加えて、地域移行は、生徒、保護者、教員、地域社会を大きく巻き込むことになるため、まちづくりの一環として捉える考えも示されているが、市はどのような地域支援を考えているのか。

答

本年度の中学校運動部活動の状況については、

中学校総合体育大会などで、野球、サッカー、ソフトボールでそれぞれ1チームが合同チームとして出場している。

地域移行により期待される効果としては、少子化の中でも将来にわたり子どもたちがスポーツに親しむ機会を確保できるとともに、技術面において専門的な指導を受ける機会を得られることが想定でき、生徒にとって有意義な活動になると考える。また、教員の負担が軽減されることで、授業の準備などに時間を充てられるようになり、学校教育の



中学校での部活動の様子

質の向上につながると考える。地域移行に伴う課題としては、生徒の指導に適した専門性や資質を有する指導者の確保が容易でないことや、休日は外部の指導者が部活動を指導することになるため、休日に実施されることが多い練習試合や遠征などが難しくなることなどが考えられる。今後のスケジュールとしては、本年度中に検討委員会の設置を検討しており、他市とも情報共有を行いながら、令和7年度末をめどに運動部活動の地域移行を進めたい。

部活動の地域移行は、国のガイドラインに従い、運動部活動だけでなく、文化部活動についても一体的に進めていく必要があると認識している。地域支援を推進するためには、地域の実態把握とともに各学校、保護者などの意見集約による意思統一が必要不可欠であると考えており、その結果、地域ごとで支援内容は変わると思われることから、今後も国の動向や先進事例の情報収集を行い、地域のニーズに沿ったスポーツ及び文化の環境作りを研究したい。

自民クラブ

井上浩二議員



- (一般質問)
- 1 家庭系ごみの有料化について
 - 2 サッカー場の整備について

制度の周知推進を！

問

令和5年4月から始めるごみの減量化に関しては、広報などでの周知に併せて、広報などでの周知に併せて、出前講座での積極的な周知が重要と考えるが、市は出前講座について、どのように考えているのか。

また、市民の理解を深めるために、ごみの分別・出し方を分かりやすくまとめたガイドブックを作成し、全戸配付する考えはないのか。